

令和元年度 第3回深谷市まちづくり評価委員会 会議録  
(A班グループ評価1回目)

1 実施日時

令和2年1月27日(月) 14時00分～17時00分

2 場所

本庁舎3階 大会議室

3 出席者

委員4人	吉田副員長	富田委員	須藤委員	高橋委員
こども青少年課2人	栗田課長	富田課長補佐		
保育課2人	小林次長	石塚課長補佐		
保険センター2人	野口所長	小井土係長		
教育総務課2人	青木次長	黒澤課長補佐		
学校教育課2人	関根課長	山本課長補佐		
人権政策課2人	澁澤課長	玉井係長		
商工振興課2人	茂木補佐	関口係長		
企画課(事務局)4人	荻野次長、	倉林課長補佐、	中島係長、	深町主査

4 会議内容

(1) あいさつ

(2) 自己紹介

(3) 対象主要プロジェクトの確認

- ・今回取り上げる主要プロジェクトは、「主要プロジェクト1 出産・子育て安心ふかやプロジェクト」であることと、担当課及び取組内容を確認。

(4) グループ評価

①各課から取組内容について説明

- ・各課より「主要プロジェクトの方向性に沿ってどのような取組を行っているか」を3分で発表

## ②主要プロジェクトの現状把握及び課題抽出

- 各課からの説明や、主要プロジェクトの実施計画シート等の資料から、委員と主要プロジェクト担当課職員の意見交換により、この主要プロジェクトの現状把握及び課題の洗い出しを行った。

### 【第1回グループ評価においてまちづくり評価委員会から出た課題意識】

市の事業執行にあたっては事務事業の一つ一つの取組が大切であり、各事務事業を効率的に執行していくことが必要であるということも言うでもない。また、各種事業の進捗について確認することもできた。他方において、自分たちの事業に関係する部署だけでなく、全体を俯瞰して取り組むことも重要である。

人口減少社会において、深谷市を選んで定住してもらい、定着してもらうことは深谷市の将来に向けて大切なことあり、本プロジェクトを推進するうえでの大きな課題となっていると思われる。特に、仕事や家庭だけではなく、地域の活動においても、性別を問わず、生き生きと活躍してもらう場を設けることは、重要なことであり、そのためには、ジェンダーバイアスにとらわれることなく、ライフ・ワーク・バランスが適正にとれるような環境づくりが大切となっているものと思われる。

## ③第2回グループ評価に向けた検討テーマ

第1回で出た課題意識から、次回までに次のテーマについて、委員と職員の両者が、考えをまとめてくることとした。

- 1 深谷市を選んでもらえるようにするには、どのような取組が必要か。
- 2 子育て世代の男性にも女性にもライフ・ワーク・バランス（仕事と地域活動・家庭との両立）を図ってもらうためには、どのような取組が必要か。